

参考：用語解説

用 語	説 明
ともに生きる社会かながわ憲章	2016年7月に県立の津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件を機に、このような事件が二度と繰り返されないよう、ともに生きる社会の実現をめざして定めた憲章。
シチズンシップ教育	積極的に社会参加するための能力と態度を育成する実践的な教育。
キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を促す教育。
未病	健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、このすべての変化の過程を表す概念。
国際バカロレア	インターナショナルスクールや各国の現地校の卒業生に、国際的に認められる大学入学資格を付与するしくみ。
SDGs（持続可能な開発目標）	2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成されている。
ESD（持続可能な開発のための教育）	人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。
ICT	Information and Communication Technology の略で、コンピュータやインターネット等の情報通信技術のこと。
インクルーシブ教育	支援教育の理念のもと、共生社会の実現に向け、すべての子どもが同じ場で共に学び共に育つことをめざすこと。

用 語	説 明
医療的ケア	学校や在宅等で日常的に行われている、たんの吸引・経管栄養・気管切開部の衛生管理等の医行為。
外国につながるのある生徒	「日本国籍であっても母語が日本語でない生徒」や「家族が外国にルーツをもつ生徒」など、外国籍をもつ生徒だけでなく、民族、文化など様々な背景をもった生徒のこと。
コミュニティ・スクール	学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。
地域学校協働活動	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。
マグカル（マグネット・カルチャー）	文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す取組である、マグネット・カルチャーの略。
かながわパラスポーツ	すべての人が自分の運動機能等に応じて楽しみながらスポーツをする、観る、支えること。